

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターみらいく					公表日	2025年7月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点						
環境整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1					現在、職員配置にむけて準備を進めている。				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		1	利用希望者がいるが、対応しきれていない現状があるため、職員配置について検討する必要がある。							
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1									
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1									
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		児童発達支援管理者と相談しながら実施している。							
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1				評価を行うことのできる外部機関を検討していく。				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1									
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1									
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1									
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1									
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1									
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1	現在は、施設内で作成したインフォーマルな評価表を使用している。	今後、標準化されたツールを用いたアセスメントができるように取り組む必要性を感じる。						
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1									
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1									
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		1	市町村の保健師や家庭児童相談員等と支援前後で共有するようにしている。							
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		1	その日には実施できていないが、児童発達支援管理者とその月の訪問の様子は共有している。	今後、訪問員が増えた際には、支援の様子が振り返れる日時を設定していく必要がある。						
障害児相談支援事業所	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1		初めての訪問の前には、ホームページにて確認するようにしている。							
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1									
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1									
20		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1		児童発達支援管理者か、訪問支援員のどちらかが参加するようにしている。							

関係機関や保護者との連携	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1		支援会議以外にも、実際の訪問や、保護者への支援会議の内容の共有や家での困り感の相談の場には、市町村の保健師や家庭児童相談員等に同席してもらうようにしている。必要に応じて病院のリハビリ職員との情報共有も行っている。	
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1			
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1		今年度は、外部の研修等に参加していく予定。	
	24 (自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1		従事者は参加していないが、児童発達支援管理者が参加している。	会議に出席しない場合も、児童発達支援管理者に地域の現状や課題等を伝える機会を作っていく。
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1			
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1			児童発達支援センターみらいとして、家族支援プログラムの実施について検討していく必要がある。
保護者等への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1			
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1			
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1			
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1			
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1		訪問支援を実施した後に、保護者と内容を共有したり、家庭での困り感の相談ができる時間を設定している。	
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1		現在検討できていない現状。	保護者同士の交流の場の開催について検討していく必要がある。
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1		日程調整が難しく迅速に対応できていない時もあるため、対応ができるような体制を整えていく。	公式LINE等も活用や、市町村の担当者と協力しながら相談がスムーズに行えるように努めていく。
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1		HUGや保育所等訪問支援専用LINEを通し、支援内容の共有や、連絡体制を整えている。	
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1			
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1			
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1		訪問先施設のご協力により、必要なカンファレンスの時間を確保出来ている。	
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1		家庭訪問や児童発達支援センターみらいでの面談で共有が行えている	ご家族の負担感にも配慮しながら共有をおこなっていきたい。
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1			
42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1				

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1			